

多根記念眼科病院

2023 年度年報

目 次

病院概要	2
診療部（眼科）	3
看護部	4
医療技術部（視能訓練科）	6
医療技術部（臨床検査科）	8
医療技術部（栄養科）	9
手術センター	10
薬 局	12
医療安全部	14
事務部	18
資格一覧	19
学会発表	20

〒550-0024 大阪市西区境川 1-1-39

TEL：06-6581-5800（代表） FAX：06-6581-5063

交 通：

電 車

J R大阪環状線・大正駅 または

大阪メトロ・長堀鶴見緑地線大正駅 下車徒歩 8 分

阪神なんば線・九条駅 下車徒歩 10 分

大阪シティバス

なんば より（60）天保山行 境川停留所 下車すぐ

大阪駅前 より（88）天保山行 境川停留所 下車すぐ



【病院概要】

院 長	櫻井 寿也
開設日	1988 年（昭和 63 年）10 月
病床数	58 床
標榜科目	眼 科 / 麻酔科
土地・建物（㎡）	敷地面積 991.76 ㎡ 延床面積 3,942.97 ㎡
基準関係	一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 6）/診療録管理体制加算 2 医師事務作業補助体制加算 1（20 対 1）/医療安全対策加算 1/医療安全対策地域連携加算 1 データ提出加算 1 ロ（医療法上の許可病床数が 200 床未満）/患者サポート体制充実加算 病棟薬剤師業務実施加算 1/救急医療管理加算 25 対 1 急性期看護補助体制加算（看護補助者 5 割以上）/せん妄ハイリスク患者ケア加算 短期滞在手術等基本料 1/入院時食事療養（Ⅰ）/薬剤管理指導料/コンタクトレンズ検査料 1 ロービジョン検査判断料/医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 4 に掲げる手術 治療的角膜切除術 [エキシマレーザーによるもの（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る）] 角膜移植術（注 2：角膜内皮移植加算） 羊膜移植術/緑内障手術 [緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの）] 緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術） 緑内障手術 [濾過胞再建術（needle 法）] 網膜再建術/医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 5 及び 6 に掲げる手術 黄斑下手術等（黄斑下手術、硝子体茎頭微鏡下離断術、増殖性硝子体網膜症手術、眼窩腫瘍摘出術他） 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等（涙嚢鼻腔吻合術）/角膜移植術/上顎骨形成術等（上顎骨形成術） 療担規則第 5 条の 4 第 1 項及び療担基準第 5 条の 4 第 1 項の選定療養に関して支払を受けようとする場合の厚生労働大臣の定める基準による （24）白内障に罹患している者に対する水晶体再建に使用する眼鏡装用率の軽減効果を有する多焦点眼内レンズの支給に関する事項

（2024 年 3 月現在）

◆診療部（眼 科）

【部署概要】

常勤医師 17 名と非常勤医師 14 名で構成されております。

【診療・部署体制】

眼科のなかでも専門分野が細分化され、診療が高度化してきた医療事情を踏まえ、当院では各専門領域の専門科を配置し高度な診療を提供しております。月曜日から金曜日まで 5～7 診体制で、一日平均患者数約 181 名(初診患者数約 26 名)の診療に当たっております。どの曜日にも網膜剥離、眼外傷、緑内障発作など緊急疾患に対応できる医師を配置し、緊急手術ができる診療体制にしております。また、最近では様々な眼内レンズが登場し、白内障手術も進化していますが、手術中にリアルタイムで計測分析する機器を導入し、患者様のニーズに合わせた高い精度での手術を行っております。

【診療・部署実績】

2023 年度の手術件数は 4,188 件で、内訳は白内障手術 2,287 件、網膜硝子体手術 1,035 件、屈折矯正手術 44 件、その他 279 件となっています。

加齢黄斑変性、糖尿病網膜症、網膜静脈閉塞症に対する抗 VEGF 薬の硝子体注射は上記の件数に含まれておらず、外来処置室にて年間約 2,276 件施行しております。

◆看護部

【部署概要】

<入院>

5 階・6 階（2 フロア 1 看護単位：58 床）、6 階 6 床は日帰り手術（ケアルーム）として使用

月平均新入院患者 224 名、病床稼働率 66.4%、平均在院日数 3.7 日

入院患者のほとんどが手術目的である。短い在院日数のなかで退院後の生活に支障がないよう他職種と連携して退院指導、退院支援に力を入れている。他施設からの紹介による緊急入院に迅速に対応できる体制を整えている。

<外来>

ケアルーム稼働率 110%

外来看護師は処置介助、検査介助、術前及び入院オリエンテーション、日帰り手術患者のケアを行っている。

診察や検査の待ち時間短縮に向けて効率を重視しながら、一人一人の患者に丁寧な対応を心掛けている。

【診療・部署体制】

人員配置：一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 6）

急性期看護補助体制加算 25：1（5 割以上）

看護要員：看護師 43 名、ナースエイド（看護補助者）4 名、病棟クラーク 1 名

メディカルクラーク 23 名

看護方式：チームナーシング

【特色・トピックス】

- 1.公益社団法人 日本看護協会 感染管理認定看護師誕生：江口華代
- 2.公益社団法人 大阪府看護協会令和 5 年度予備代議員就任（2023.6～2024.6）：富永ルミ子
- 3.短期滞在日本外科手術研究会世話人更新（2023.4.1～2024.3.31）：富永ルミ子
- 4.眼科看護部教育計画 眼科コース継続 ラウンド型導入（2023.4～2024.3）
- 5.KHS メディカルクラーク、病棟クラークラダー導入（2023.4～2024.3）
- 6.ナースエイド（看護補助者）部署間ジョブローテーション導入（2023.4～2024.3）
- 7.タスクシフト/シェアの推進（2023.4～2024.3）
- 8.TQM 活動（2023.4～2024.3）
 - ・ない！ない！ない！心配ない！～充血・結膜下出血見分けて、不安を減らそう～
 - ・予約がとれるまで帰れま 10～待ち時間短縮に向けて～
 - ・あなたに入計届けたい～入院初日の説明を目指して～
- 9.大阪市立西中学校職場体験受け入れ（2023.9）
- 10.目に関する健康講座（市民講座）（2023.11.24）
- 11.関西福祉科学大学臨地実習（2024.3）
- 12.社会福祉法人 日本ライトハウス情報文化センター見学（2024.2、10、17）6 名
- 13.中外製薬主催 患者を中心とした多職種連携のための講演会演者（2024.3.8）：谷岡裕子
- 14.看護部クリニカルラダー2023 年度新規取得者
ラダーⅠ（3 名）ラダーⅡ（1 名）ラダーⅢ（1 名）
- 15.2023 年度医師事務作業補助者研修修了者 3 名
- 16.眼科コース修了者 5 名
- 17.院内認定看護師コース 認知症看護コース修了 1 名 感染管理コース修了 1 名

【診療・部署実績】

- 1.看護目標に対する評価
 - 1) 部署別目標中間評価（9 月）
 - 2) 部署別目標最終評価（3 月）
- 2.看護部委員会成果発表会（3 月）

3.TQM 発表会（3 月）

4.看護研究発表会（3 月）

◆医療技術部（視能訓練科）

【部署概要】

当科では各種眼科医療機器・器具を使用し、さまざまな視機能検査や斜視・弱視の訓練およびロービジョンケアなどを行っている。

【主な業務内容】

- ・眼科一般検査
視力・眼圧・視野・色覚・眼底写真・コンタクトレンズ・白内障術前検査など
- ・斜視弱視検査および訓練指導
斜視術前検査・弱視訓練・眼球運動訓練・輻湊訓練など
- ・ロービジョンケア
低視力者に対するルーペ・遮光眼鏡・拡大読書器などの視覚補助具の選定、各種福祉サービスや身体障害者手帳に関する情報提供など

他にも屈折矯正手術では術前、術後の検査に加えて手術室でのオペレーターを担当し、白内障手術では日々のデータを入力、解析することで精度管理に役立てている。新しい多焦点眼内レンズ等の導入に際しても事前の準備や術後評価を行い、日常の診療や医師の学会発表、論文投稿へのデータおよび情報の提供も担っている。

地元の幼稚園の眼科検診に医師とともに出向き、地域の検診にも参加している。

【診療・部署体制】

全員で取り組む一般検査の他により専門性の高い分野について6つのサブグループを組み、これらグループの活動を通じて技術の向上や問題解決をはかるとともに業務の改善にも取り組んでいる。また、新入メンバーの研修についてもグループ単位で行っている。

【サブグループの構成】

Aモード・エキシマレーザー・写真・ロービジョン・コンタクトレンズ・OCT

【特色・トピックス】

外来業務の運営において人員配置や各検査、カルテの流れを見直し業務の効率を改善した。

Aモードグループでは、角膜手術後（PTK・RK施行眼）の白内障手術の精度向上に取り組むとともに有用な計算式を選別し、検査項目を削減して業務の効率化を図った。

OCTグループでは、測定前に使用する機種判断ができる工夫や測定効率を配慮した機種の選定を行い検査の効率を向上させた。

コンタクトレンズグループでは、コンタクトレンズ外来の患者の増加に対応するため逆紹介システムを構築し、7月から運用を開始した。（7月～3月：11件）

【診療・部署実績】

視能訓練業務

斜視・弱視視能訓練（20件）、斜視術前・術後検査（109件）、プリズム眼鏡処方（101件）

ロービジョンケア（54件）

専門分野の活動

Aモード

PTK 後白内障手術屈折誤差データ解析

RK 後白内障手術屈折誤差データ解析

コンタクトレンズ

院内合同勉強会

「コンタクトレンズ外来の現状と問題点について」発表

各専門分野の学会に参加し部署内で報告を行い情報の共有を行った

学会発表への協力（医師の学会発表に向けてのデータ収集・解析）

第 39 回 JSCRS 学術総会

シンポジウム 眼内レンズ二次挿入術の新しい試み

フレンジ固定と術中屈折測定データ入力・解析（発表 櫻井 Dr）

◆医療技術部（臨床検査科）

【部署概要】

感染管理業務・臨床検査関連業務を主とし、眼科検査業務(視能訓練科業務)および管理部業務の補助をおこなう。

【診療・部署体制】

臨床検査技師	1名
感染管理業務	医局・医療安全部・各部署と連携して、院内感染防止対策を推進 院内感染防止対策委員会(ICC)の運営
臨床検査業務	検体採取・臨床検査データ確認・眼科領域 PCR 検査外注手配
眼科検査業務補助	超広角眼底撮影(無散瞳)・光干渉断層画像撮影(OCT)
事務部業務補助	各部署器材および機器の修理に関する管理業務・各部署稟議書管理

【特色・トピックス】

COVID-19 検査 鼻腔・鼻咽頭検体採取を担当
各部署間を組織横断的に業務実施
各部署からの各種問い合わせ・要請に対応
感染対策関連・医療機器(中材業務)関連学会参加等による知見に基づいて業務対応

【診療・部署実績】

感染管理業務	新型コロナウイルス感染症 各種対応 感染症法改正に準じて 届出一覧・届出基準・届出様式の更新(随時)
臨床検査業務	術前 臨床検査データチェック 実施 新型コロナウイルス感染症検査 検体採取実施
眼科検査業務補助	超広角眼底撮影(無散瞳)実施・光干渉断層画像撮影(OCT)
事務部業務補助	各部署における器材および機器の修理に関する管理の実施 各部署における稟議書の管理の実施

◆医療技術部（栄養科）

【部署概要】

患者自身の回復力を高め、疾病治療に役立てることを目的として、各個人の病状に合わせた適切な食事を提供している。見た目や味だけでなく、視力が不良な患者が多いことを考慮し、料理と食器の色のコントラストにもこだわっている。おかずは一から手作りで、食物アレルギーや嗜好などの個別対応にも柔軟に対応することが出来ている。また、入院中の食事以外でも、必要な患者には、退院後の食生活に関する栄養相談や指導を行っている。

【診療・部署体制】

管理栄養士 1 名

※給食業務は日清医療食品に委託（栄養士 2 名、調理師 2 名、調理補助 3 名）

【特色・トピックス】

- ・昨年度に引き続き感染防止対策を実施し、患者が安心して食事を楽しめる環境整備を行った。
- ・新規入院患者には、入院時にアレルギー有無の確認と食事内容の説明を行い、安心安全な食事提供と事故防止に努めた。
- ・7 階フロアは災害時の一時避難場所に指定されているため、患者を受け入れる場所作りと避難誘導を迅速かつ適切に行えるよう、2023 年度は他職種合同で災害訓練を 2 回実施した。

【診療・部署実績】

《月別食事提供数》

	一般食	特別食	総食数
4月	1,969	637	2,606
5月	2,031	580	2,611
6月	2,007	549	2,556
7月	1,849	341	2,190
8月	1,833	468	2,301
9月	1,825	452	2,277
10月	1,990	454	2,444
11月	2,141	459	2,600
12月	1,966	276	2,242
1月	1,602	221	1,823
2月	1,833	470	2,303
3月	1,989	309	2,298

《行事食》

4月	お花見弁当	桜ちらし、桜餅
5月	端午の節句	箱寿司、柏餅
7月	七夕	七夕そうめん
10月	体育の日	栗ご飯
11月	紅葉弁当	松茸ご飯、芋羊羹
12月	冬至	ゆず味噌田楽
	クリスマス	クリスマスケーキ
	大晦日	年越しそば
1月	お正月	お節料理
2月	節分	恵方巻き、福豆
3月	ひな祭り	ちらし寿司

◆手術センター

【部署概要】

2023 年度の手術件数は 4,188 件で、白内障手術を中心に多数の手術を手がけてきた。手術センターでは、これらの手術を安全かつ迅速に実施できるよう取り組んでいる。

当院の特色として、予定手術に加えて多数の緊急手術を受け入れていることがあげられる。他施設からの紹介による網膜剥離や眼外傷、眼内炎、緑内障発作などの緊急疾患患者に対しては、地域連携室と受診予定の患者情報を共有し、手術の受け入れができるよう関連部署と連携し、迅速に対応できる体制を整えている。2023 年度の当日緊急手術は 349 件（月平均 29 件）であった。

また、小児や認知症など、局所麻酔での手術が困難な患者に対しては、全身麻酔下での手術を実施している。2023 年度の全身麻酔手術は 431 件で、2022 年度に比べて 55 件増加しており、近年、増加傾向にある。

限られた時間の中で多種多様な手術に対応し、小児から高齢者まで幅広い年齢層の患者の安全を第一に考え、常に患者の個性を大切に、患者中心の周術期看護の提供ができるよう努めている。

【診療・部署体制】

手術室：1～4 ルーム（4 ルームはエキシマレーザー専用手術室）

勤務体制：4 月～月・火・木曜日 待機 2 名 それ以外→待機 1 名体制

7 月～火・木曜日 待機 2 名 それ以外→待機 1 名体制

8 月～木曜日のみ 待機 2 名 それ以外→待機 1 名体制

2024 年 2 月～土・日・祝日・後送日のみ待機 1 名体制 ※平日の待機廃止

手術支援室職員数:10 名 常勤看護師 5 名（うち看護主任 2 名） 非常勤看護師 3 名 視能訓練士 1 名 派遣事務員 1 名

【特色・トピックス】

1. 手術室業務の効率化

- 1) 業務の効率化のため業務内容を見直し、他職種でタスク・シェア/シフトの促進に取り組んだ
- 2) 適正な定数管理の実施と手術室内の整理整頓に取り組んだ

2. 手術支援室の教育体制の樹立

- 1) 役割別業務確認表・新入職者パスを活用した、新入職者指導に取り組んだ
- 2) 眼科知識の向上のため、医師および視能訓練士による勉強会を実施した
 - (1)「Medtronic IPC」導入説明会（5 月）
 - (2)「プリザーフロマイクロシャント」導入説明会（6 月）
 - (3)白内障手術の流れと起こりうる合併症：医師（6 月）
 - (4)視力について：視能訓練士（6 月）
 - (5)「Lumera700(OCT 撮影機能付き)」導入説明会（8 月）
 - (6)「V-link Windows10 アップデート」説明会（10 月）
 - (7)全身麻酔の流れと注意事項：麻酔科医師（2024 年 2 月）

3. 安全の確保

- 1) 危険予知能力の向上に努め、インシデント発生件数の削減（眼内レンズ関連、薬剤関連、眼内炎）、ヒヤリハット報告件数の増加に取り組んだ
- 2) 他職種合同防災訓練の実施（3 月）
役割別アクションカードの見直し・更新

4. 自己研鑽

- 1) 第 10 回 日本手術看護学会 近畿地区 ※オンデマンド開催（6 月 24～7 月 31 日）
- 2) 第 77 回 日本臨床眼科学会（10 月 6 日～9 日）

- 3) 第 37 回 日本手術看護学会年次大会 (10 月 27・28 日)
- 4) 第 39 回 日本視機能看護学会学術総会 (11 月 4・5 日)
- 5) 株式会社トーカイ「手術室・中材 感染セミナー」2 名 (2 月 3 日)
- 5. 他部署および他施設からの臨床実習の協力
 - 1) 多根記念眼科病院 視能訓練士研修 2 名 (2024 年 3 月 13 日・15 日)
 - 2) 大阪医療福祉専門学校 視能訓練士臨床実習 1 名 (11 月 15 日・12 月 6 日)

【診療・部署実績】

2023 年度の手術件数：4,188 件

手術内訳：白内障手術 2,287 件 網膜硝子体手術 1,035 件(うち強膜内固定 158 件) 緑内障手術 108 件

涙道手術 (涙道内視鏡下チューブ挿入術、涙嚢鼻腔吻合術など) 358 件

その他の手術 (斜視手術、角膜移植術、眼形成手術など) 400 件

全身麻酔手術：431 件

当日緊急手術：349 件 (月平均 29 件)

1 日平均手術件数 (平日)：17.8 件

◆薬 局

【部署概要】

薬局では、安全かつ適正な薬物治療を提供できるよう薬剤師としての専門性を活かし、内服薬・外用薬・注射薬の調剤業務、特殊な院内製剤を作成する製剤業務、医薬品情報管理業務、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、医薬品管理業務、治験業務などの業務に取り組んでいる。また、感染防止対策、医療安全対策、褥瘡対策などのチーム医療にも積極的に参加している。

【診療・部署体制】

常勤薬剤師：4名（平日1.5日/週、土曜日0.5日（隔週）1名 総合病院薬剤部にて勤務 2023年7月まで）

医薬品情報管理室 1名

病棟専任薬剤師 3名

【特色・トピックス】

2018年4月から病棟薬剤業務実施加算を開始し、よりいっそう入院患者様に安心してお薬を使用していただけるよう病棟活動を主としている。2022年下期からは特に安全管理が必要な医薬品への指導を積極的に行っている。また、臨床試験や製造販売後調査の依頼があれば院内CRCとして治験業務にも関わっている。2022年9月からは同法人内の他施設間の薬剤部・薬局研修を開始し、同法人他施設の薬剤師との交流も深め、眼科関連薬だけではなく積極的に他分野の知識を深めている。

【診療・部署実績】

	入 院							外来院内 薬剤情報
	新入院数	指導患者数	指導回数 (訪問)	薬剤管理指導料（安全管理を要する医薬品）	薬剤管理指導料（1の患者以外の患者）	退院時薬剤情報管理指導料	病棟薬剤業務実施加算 ¹	
2023年4月	247	236	517	73	107	96	221	57
2023年5月	226	233	499	53	157	112	198	81
2023年6月	220	239	518	55	138	109	196	60
2023年7月	211	218	444	45	122	91	193	51
2023年8月	210	227	476	48	107	91	160	55
2023年9月	198	210	449	45	124	92	178	45
2023年10月	228	227	486	40	139	98	203	59
2023年11月	227	240	506	49	149	99	193	57
2023年12月	218	224	480	39	128	108	185	69
2024年1月	198	185	399	21	113	70	134	64
2024年2月	215	220	465	51	117	83	176	49
2024年3月	215	216	469	44	127	97	192	59
合計	2,613	2,675	5,708	563	1,528	1,146	2,229	706
月平均	218	223	476	47	127	96	186	59

	外来処方箋		外来 注射箋	入院処方箋		入院注射処方箋	院外処方箋 発行枚数
	枚数	劑数		枚数	劑数		
2023年4月	104	141	264	872	2007	121	2015
2023年5月	123	162	247	788	1805	141	1956
2023年6月	112	154	273	834	1944	138	2113
2023年7月	81	115	253	684	1650	119	1973
2023年8月	78	100	279	754	1788	125	1977
2023年9月	81	119	275	710	1696	124	1996
2023年10月	93	134	257	792	1841	115	2007
2023年11月	92	136	272	850	1953	136	2040
2023年12月	116	185	268	751	1840	111	2028
2024年1月	112	161	307	596	1414	82	1973
2024年2月	76	93	258	771	1787	140	1976
2024年3月	111	180	260	753	1783	113	2022
合計	1,179	1,680	3,213	9,155	21,508	1,465	24,076
月平均	98	140	268	763	1,792	122	2,006

◆医療安全部

【部署概要】

医療に係る安全管理対策及び医療事故防止対策の推進を図ることを目的として、医療安全管理委員会と連携しながら活動を展開している。

主な業務内容

1. インシデントレポートを集計し、問題を分析する。
2. 医療事故等の原因究明と防止策の立案、実施及び評価を行う。
3. 日常的に院内をラウンドし、各部署の医療安全マニュアルの遵守状況、インシデントに対する改善策の実施状況を確認し、必要な指導を行う。
4. 医療安全マニュアルの策定、整備を行う。
5. 医療安全に関する職員研修の企画及び運営を行う。
6. 相談窓口担当者と連携し、患者・家族からの相談に対応する。

【診療・部署体制】

医療安全部長（副院長）

医療安全管理者（看護師）

医薬品安全管理者（薬局長）

事務長

- ・医療安全対策加算Ⅰ
- ・医療安全対策地域連携加算Ⅰ

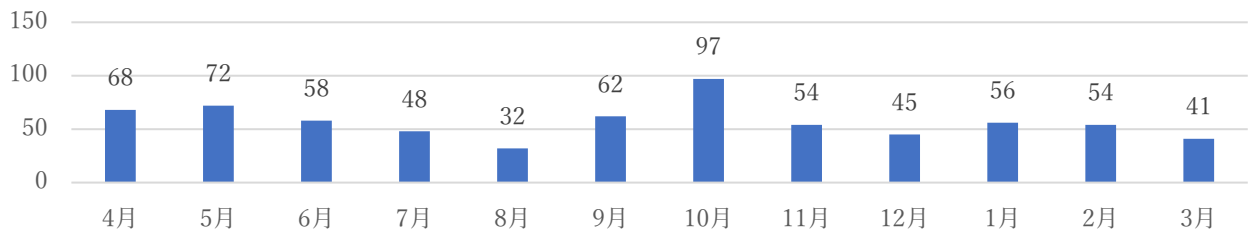
【特色・トピックス】

1. インシデントレポートの分析及び対策の検討
2. 医療安全マニュアルの改訂
(アクシデント・インシデント等発生時の報告体制、災害医療総論と災害対策本部の設置等)
3. 指差し呼称シールを作成し強化月間に指差し呼称が実施できているか確認を行った。強化月間にはレベル 2 以上のインシデント発生がなかった。
4. ポジティブレポートの推進
毎月ヒヤリハット報告の中から、職員の気付きで事故やエラーを防げた事例を「ポジティブレポート」として選出し、院内メールで配信して共有する取り組みを実施している。年間で最も良かった事例に対しては、最優秀賞として表彰を行った。
5. 2 カ月に 1 回、テーマを決めて医療安全ラウンドを実施
6. 医療安全研修の開催（全職員対象 年 2 回、新入職者対象 年 2 回）
7. 南海トラフ地震を想定した防災訓練、災害対策本部設置訓練の実施

【診療・部署実績】

1. 2023 年度インシデント・アクシデント報告件数 687 件

2023年度 月別インシデント・アクシデント報告件数



1) 全職員対象

11月9日 「PDCA サイクルについて」

1月12日 「インシデントレポートについて」

2) 新入職者対象

4月6日 「医療安全について」

2月2日 「医療安全オリエンテーション」

3) 看護補助者研修

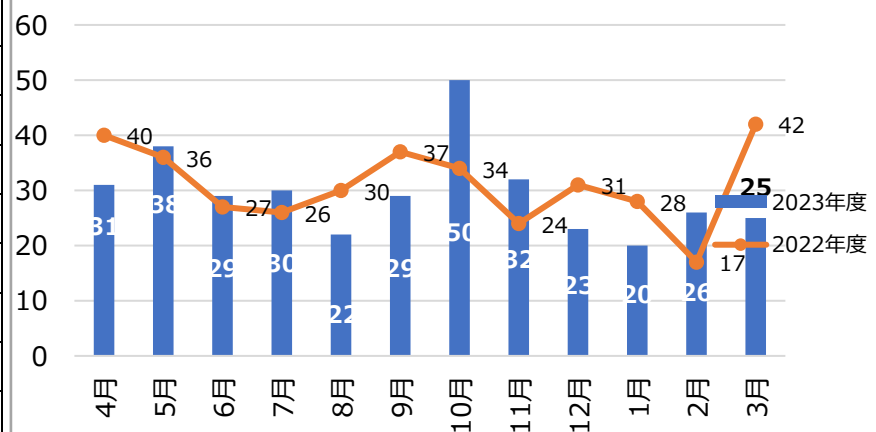
10月19日 「KYT 研修」

インシデント報告件数

	2023 年度	2022 年度
4月	31	40
5月	38	36
6月	29	27
7月	30	26
8月	22	30
9月	29	37
10月	50	34
11月	32	24
12月	23	31
1月	20	28
2月	26	17
3月	25	42

合計 355 374

インシデント報告件数(重複含む)



ヒヤリ・ハット

報告件数

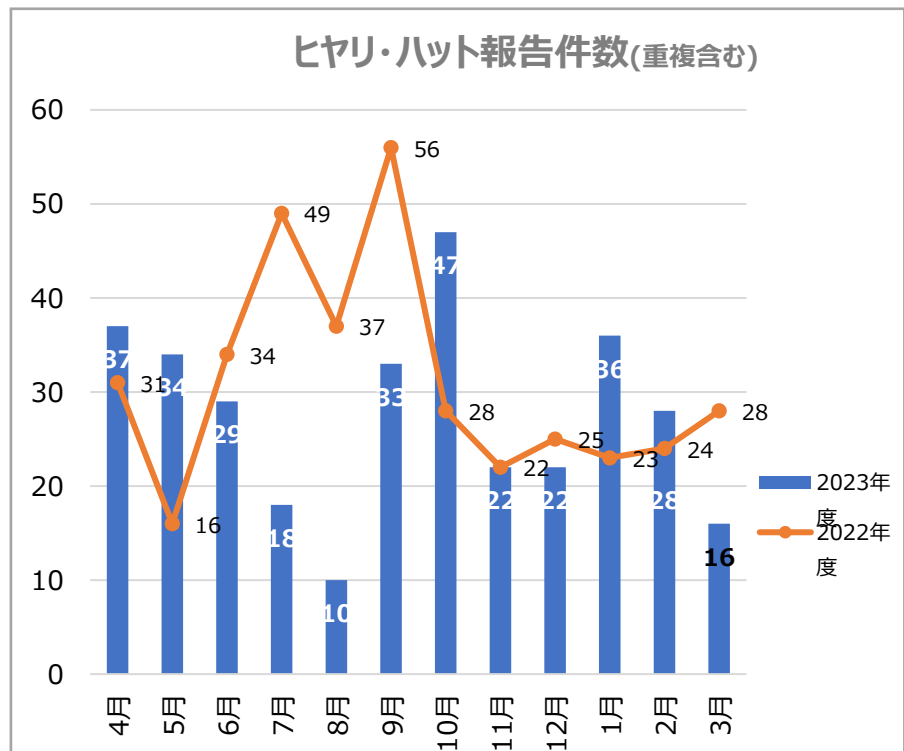
	2023 年度	2022 年度
4 月	37	31
5 月	34	16
6 月	29	34
7 月	18	49
8 月	10	37
9 月	33	56
10 月	47	28
11 月	22	22
12 月	22	25
1 月	36	23
2 月	28	24
3 月	16	28

合計 332 380

2023 年

687

年間



レベル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1	26	31	18	19	13	23	32	24	16	13	23	22	260
2	4	5	6	6	7	1	9	1	6	3	2	1	51
3a	0	1	0	2	0	1	3	5	1	1	0	0	14
3b	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2
その他	1	1	5	2	2	4	6	2	0	3	0	2	28
合計	31	38	29	30	22	29	50	32	23	20	26	25	355

レベル	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	5 年間合計
レベル 0	302	375	222	380	332	934
レベル 1	248	246	227	280	260	767
レベル 2	50	60	35	42	51	128
レベル 3a	23	10	11	24	14	49
レベル 3b	1	2	9	1	2	12
レベル 4	0	0	0	0	0	0
レベル 5	0	0	0	0	0	0
その他	22	18	28	27	28	83
合計	646	711	532	754	687	1973

2023 年度

	合計件数	インシデント	ヒヤリハット
4 月	68	31	37
5 月	72	38	34
6 月	58	29	29
7 月	48	30	18
8 月	32	22	10
9 月	62	29	33
10 月	97	50	47
11 月	54	32	22
12 月	45	23	22
1 月	56	20	36
2 月	54	26	28
3 月	41	25	16
合計	687	355	332

2023 年度 報告件数割合			2023	2022	
レベル	前年比	増減	全報告数割合	全報告数割合	前年度比較
レベル 0	87%	-13%	48.3%	50.4%	-2.1%
レベル 1	93%	-7%	37.8%	37.1%	0.7%
レベル 2	121%	21%	7.4%	5.6%	1.9%
レベル 3a	58%	-42%	2.0%	3.2%	-1.1%
レベル 3b	200%	100%	0.3%	0.1%	0.2%
レベル 4					
レベル 5					
その他	104%	4%	4.1%	3.6%	0.5%
合計	91%	-9%			
		インシデント割合	51.7%	49.6%	2.1%

◆事務部

【部署概要】

《経営管理》

中・長期および年度計画管理 / 収支管理 / 経営指標管理 / 諸規定管理 / 業務委託管理 / 防災・防犯管理
未収金管理

《診療報酬管理》

診療報酬請求業務 / 施設基準管理 / 審査増減・請求漏れ管理

《個人情報管理》

診療記録管理 / 個人情報保護相談窓口業務 / 患者動向管理

《患者対応》

受付業務 / 会計業務 / 電話交換業務 / 院内掲示管理 / クレーム対応 / 施設内外保安業務

【診療・部署体制】

窓口業務（受付・会計等）の他、スタッフごとに業務を分担することで高い専門性を維持し、業務を定期的にローテーションすることで業務の平準化と職員教育に繋げている。

《主な分担業務》

- ・診療報酬請求管理（公費/労災）
- ・返戻再請求管理
- ・データ提出加算管理
- ・自費診療管理
- ・未収管理

【特色・トピックス】

1. 部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進
2. 施設基準および加算の管理
3. レセプト査定の最小限への取り組み
4. 自己研鑽の推進（学会・勉強会への参加、各種資格の取得）
5. 治験への積極的協力
6. 学生研修の積極的受け入れ

【診療・部署実績】

《他部署との連携による情報共有、業務改善・円滑化の推進》

メディカルクラーク、視能訓練科と連携して受付業務を効率化し、初診患者の待ち時間短縮に繋げている。

《施設基準および加算の管理》

新規加算取得による増収 / 次年度診療報酬改定を想定した経営指標の試算、対策立案

【資格一覧】

施 設：	多根記念眼科病院	部 署：診療部
役 職・氏名	資 格	
院 長 櫻井 寿也	眼科専門医/眼科指導医/医学博士/P D T学会認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
副院長 齋藤 伊三雄	眼科専門医/医学博士	
副院長 川村 肇	眼科専門医/眼科指導医/医学博士/P D T学会認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
手術センター長 大江 雅子	眼科専門医	
医 長 木下 太賀	眼科専門医/P D T学会認定医/医学博士/臨床研修指導医/水晶体眼内レンズ (Artisan,Artiflex) 認定医/エキシマレーザーVisix 認定医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
診療副部長 宋 よんす	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
医 長 北方 秀憲	麻酔科標榜医/日本麻酔科学会認定医	
伊集院 朋子	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
医局長 三島 雅	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
医 長 越智 靖之	眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
明石 麻里	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
谷村 直紀	眼科専門医/眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
八木 真利子	眼瞼痙攣治療ボトックス認定医	
大塚 友貴		
東田 太一		
越智 博隆		

施 設：	多根記念眼科病院	部 署：看護部
資 格		人数
認定看護管理者		1 名
感染管理認定看護師		1 名

施 設：	多根記念眼科病院	部 署：視能訓練科
資 格		人数
認定視能訓練士		3 名

施 設：	多根記念眼科病院	部 署：薬局
資 格		人数
治験コーディネーター		2 名
認定実務実習指導薬剤師		2 名
日病薬病院薬学認定薬剤師		3 名
サプリメントアドバイザー		1 名
公認スポーツファーマシスト		1 名

施 設：	多根記念眼科病院	部 署：検査科
資 格		人数
第 2 種滅菌技士		1 名

施 設：	多根記念眼科病院	部 署：栄養科
資 格		人数
病態栄養専門管理栄養士		1 名

【学会発表】

施設： 多根記念眼科病院

部署： 医局

会名称	第 38 回 JSCRS 学術総会		
発表テーマ	強膜内固定の IOL 再利用時の術中屈折測定		
日時	2023/6/22～6/24	発表者	櫻井 寿也
場所	札幌コンベンションセンター		
会名称	第 77 回日本臨床眼科学会		
発表テーマ	インストラクションコース 37 中級 04 網膜硝子体：硝子体手術自由自在		
日時	2023/10/6～10/9	発表者	櫻井 寿也
場所	東京国際フォーラム		
会名称	41ST CONGRESS OF THE ESCRS VIENNA 2023		
発表テーマ	Intraoperative Refractive Measurements During Iol Reuse For Intrasccleral Fixation		
日時	2023/09/08～09/12	発表者	櫻井 寿也
場所	オーストリア・ウィーン		
会名称	第 47 回日本眼科手術学会学術総会		
発表テーマ	教育セミナー17（3）切開と縫合 網膜硝子体編		
日時	2024/2/2～2/4	発表者	櫻井 寿也
場所	国立京都国際会館		

会名称	第 47 回日本眼科手術学会学術総会		
発表テーマ	網脈絡膜萎縮を伴う黄斑円孔への hemi-inverted ILM flap 法		
日時	2024/2/2～2/4	発表者	櫻井 寿也
場所	国立京都国際会館		
会名称	Cancer Care Management Web Seminar		
発表テーマ	見過ごさないで！抗がん剤投与時の眼の副作用～S-1 継続のために～		
日時	2024 年 2 月 14 日	発表者	大江 雅子
場所	WEB		
会名称	Osaka Ophthalmology Seminar 2024		
発表テーマ	バビースモによる nAMD の治療戦略		
日時	2024 年 3 月 1 日	発表者	越智 博隆
場所	インターコンチネンタルホテル大阪		

【執筆・論文】

施設： 多根記念眼科病院

部署： 医局

掲載誌名	American Journal of Ophthalmology Case Reports		
執筆・論文 タイトル	Transscleral drainage to treat peripheral exudative hemorrhagic chorioretinopathy caused by retinal pigment epithelial hemorrhage		
著者	倉石 隆弘	掲載号 掲載年等	Volume 33 (March 2024)

社会医療法人きつこう会